

1 位置付け

- (1) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 県行政に関する基本的な計画の議決に関する条例(平成15年岩手県条例第59号)第5条の規定に基づく県議会への報告書類

2 内容と構成

- (1) 「いわて県民計画(2019~2028)」の第2期アクションプラン・政策推進プラン(令和5年度~令和8年度)に掲げる各種指標の令和5年度目標に対する同年度末時点の達成状況を示すもの
- (2) 10の政策分野及び50の政策項目について、指標の達成状況、主な取組事項、指標一覧表などを掲載

3 政策推進プランの達成状況

(1) いわて幸福関連指標 79 (85) ※の「概ね達成【B】」以上の割合は75%となりました。
 ※ 指標数の()内は、未確定等指標を含む全指標数。(2)において同じ。

<10の政策分野の状況>

- 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
 「Ⅶ 歴史・文化」100% (3指標のうち3指標)
 「Ⅷ 自然環境」100% (5指標のうち5指標)
- 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
 「Ⅴ 安全」60% (5指標のうち3指標)
 「Ⅰ 健康・余暇」44% (9指標のうち4指標)

(2) 具体的推進方策指標 461 (490) の「概ね達成【B】」以上の割合は84%となりました。

<10の政策分野の状況>

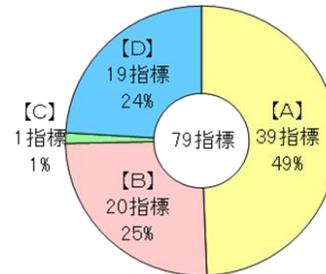
- 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
 「Ⅶ 歴史・文化」100% (7指標のうち7指標)
 「Ⅷ 自然環境」92% (26指標のうち24指標)
- 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
 「Ⅴ 安全」24% (29指標のうち7指標)
 「Ⅲ 教育」20% (94指標のうち19指標)

(3) 令和8年度の最終目標に対する進捗状況(計画期間4年間の1年目時点)について、進捗率25%以上の指標は、いわて幸福関連指標が52%、具体的推進方策指標が73%となりました。

(4) 年度後半に実施する「政策形成支援評価」では、今回の指標の達成状況と併せ、社会経済情勢も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

- いわて幸福関連指標:10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標
- 具体的推進方策指標:県が主体となって具体に取り組む施策に関連する客観的な指標
- 達成度の見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

(1) いわて幸福関連指標の達成状況



「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
59指標(75%)

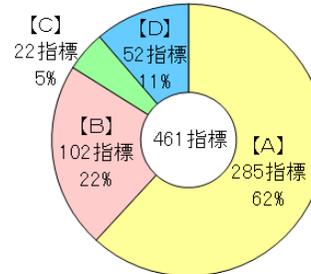
「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
20指標(25%)

<10の政策分野ごとの達成状況>

政策分野	指標数	達成度			
		達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】
I 健康・余暇	9	5 (56%)	0 (0%)	1 (11%)	3 (33%)
II 家族・子育て	7	3 (43%)	1 (14%)	0 (0%)	3 (43%)
III 教育	18	6 (33%)	9 (50%)	0 (0%)	3 (17%)
IV 居住環境・コミュニティ	6	4 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (33%)
V 安全	5	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (60%)
VI 仕事・収入	14	7 (50%)	5 (36%)	0 (0%)	2 (14%)
VII 歴史・文化	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
VIII 自然環境	5	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)
IX 社会基盤	5	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	2 (40%)
X 参画	7	5 (71%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

注:構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(2) 具体的推進方策指標の達成状況



「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
387指標(84%)

「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
74指標(16%)

(3) 最終目標(令和8年度)に対する進捗状況

政策分野名	いわて幸福関連指標		具体的推進方策指標	
	25%以上	25%未満	25%以上	25%未満
I 健康・余暇	5 (56%)	4 (44%)	41 (66%)	21 (34%)
II 家族・子育て	3 (43%)	4 (57%)	38 (81%)	9 (19%)
III 教育	6 (33%)	12 (67%)	62 (66%)	32 (34%)
IV 居住環境・コミュニティ	5 (83%)	1 (17%)	29 (88%)	4 (12%)
V 安全	2 (40%)	3 (60%)	19 (66%)	10 (34%)
VI 仕事・収入	9 (64%)	5 (36%)	78 (79%)	21 (21%)
VII 歴史・文化	3 (100%)	0 (0%)	5 (71%)	2 (29%)
VIII 自然環境	2 (40%)	3 (60%)	21 (81%)	5 (19%)
IX 社会基盤	2 (40%)	3 (60%)	29 (71%)	12 (29%)
X 参画	4 (57%)	3 (43%)	16 (70%)	7 (30%)
合計	41 (52%)	38 (48%)	338 (73%)	123 (27%)

注:構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

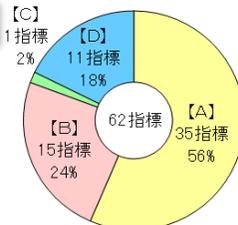
4 10の政策分野ごとの具体的推進方策の状況

凡例 ①「概ね達成【B】」以上の指標が半分以上の主な具体的推進方策
②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」の指標が見られる主な具体的推進方策

I 健康・余暇 <「概ね達成【B】」以上の割合 81%>

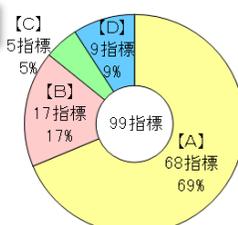
- ①「認知症施策の推進」、「多様な学習機会の充実」等
- ②「地域包括ケアのまちづくり」等

地域ケア推進会議において政策提言を実施している市町村数：推進会議を開催していない市町村や、会議を開催していても政策提言を実施していない市町村への個別の働きかけが十分ではなかったため、実施市町村数が伸び悩みました。



VI 仕事・収入 <「概ね達成【B】」以上の割合 86%>

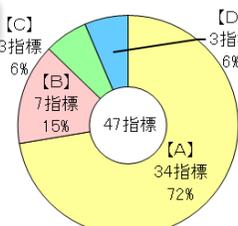
- ①「ものづくり産業の生産性・付加価値向上の加速化」、「安全・安心な産地づくりの推進」等
- ②「県内就業の促進及びU・ターンによる人材確保の推進」等
岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合：学校の授業やインターネット等において、県内企業の情報や県内で働くイメージを十分に浸透させることができず、「今は分からない」の回答が約6割を占めました。



II 家族・子育て <「概ね達成【B】」以上の割合 87%>

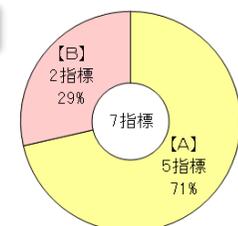
- ①「学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり」、「愛着を持てる地域づくりの推進」等
- ②「子どもが健やかに成長できる環境の整備」等

里親登録組数：里親の新規登録数は増加傾向にあるものの、高齢化などにより里親登録を削除する里親も多くなりました。



VII 歴史・文化 <「概ね達成【B】」以上の割合 100%>

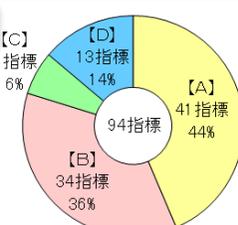
- ①「世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進」、「伝統文化、文化財などを活用した交流の推進」等
- ② 該当なし



III 教育 <「概ね達成【B】」以上の割合 80%>

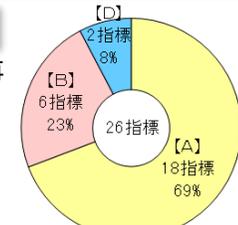
- ①「適切な部活動体制の推進」、「魅力ある学校づくりの推進」等
- ②「岩手と世界をつなぐ人材の育成」等

中学3年生、高校3年生において求められる英語力を有している生徒の割合：普段の授業の成果を確実にし、英語の学習意欲を高めるような取組や、検定等を受検する機会が十分ではありませんでした。



VIII 自然環境 <「概ね達成【B】」以上の割合 92%>

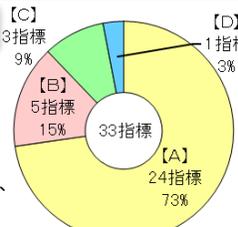
- ①「三陸ジオパークに関する取組の推進」、「廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進」等
- ②「適切な森林整備等の取組推進による吸収源対策」等
再造林面積：令和4年度の804haと比較し増加したものの、木材の需要減に伴う主伐面積の減少が続き、その後の再造林の面積も減少しました。



IV 居住環境・コミュニティ <「概ね達成【B】」以上の割合 88%>

- ①「快適で魅力あるまちづくりの推進」、「文化芸術を生かした人的・経済的交流の推進」等
- ②「地域公共交通の利用促進」等

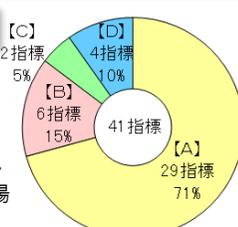
三陸鉄道の年間利用者数：新型コロナウイルス感染症の影響で増加した自家用車による子の送迎などから三陸鉄道への利用の回帰が進まず、また、観光・団体利用をはじめとした定期外利用の回復に遅れが見られました。



IX 社会基盤 <「概ね達成【B】」以上の割合 85%>

- ①「日常生活を支える安全な道づくりの推進」、「県民との協働による維持管理の推進」等
- ②「港湾の整備と利活用の促進」等

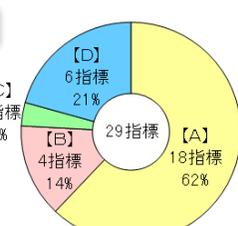
港湾におけるコンテナ貨物取扱数（実入り）：荷主である県内の紙・パルプ関連工場における一時的な生産停止や北米・欧州の仕向先工場の閉鎖等が重なったことにより、輸出量が減少しました。



V 安全 <「概ね達成【B】」以上の割合 76%>

- ①「食の信頼向上の推進」、「感染症の感染拡大に備えたワクチン接種体制と情報発信の強化」等
- ②「交通事故抑止対策の推進」等

交通事故死傷者数：20年連続で減少したものの、類型別では「人対車」の事故が増加し、年代別では60歳以上のドライバーの事故が増加しました。



X 参画 <「概ね達成【B】」以上の割合 83%>

- ①「若者の活躍支援」、「官民連携による県民運動の展開」等
- ②「多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備」等

男女共同参画サポーターの男性認定者数【累計】：男性の受講ニーズと講座内容のミスマッチなどにより、認定者数が伸び悩みました。

